

公益社団法人 山陽技術振興会

山陽人材育成講座

産学連携製造中核人材育成事業

この講座は、国の委託により開発したものです。

あなたの企業の、頼りになる人材を育てる！

実習・体験・グループ討議重視の講座で物作りの技術と安全感度を高めます。

受講生募集！



基礎をしっかり身につけたオペレーターになる
トラブルにできばき対処できる技術者になる
経営感覚を身につけたマネージャーになる

これにピッタリの講座が「山陽人材育成講座」です。

何故そうするのか、何故そうしてはならないか、基礎的な知識と理論を教えます。

リスクマネジメント能力を備えたマネージャーを育てます。

代表的石油化学企業の工場長、ベテラン技術者達が長年の経験と知恵を絞り、

大学の先生方と連携して開発した教材は企業の製造技術・管理のエッセンスです。

(公社)山陽技術振興会

後援 (社)日本化学工業協会 石油化学工業協会

〒710-0052 倉敷市美和1-13-33 Tel.(086)422-6625 Fax.(086)422-6656
e-mail: sgskouza@optic.or.jp ホームページ: <http://www.optic.or.jp/sangisin/jinzai/>

募集要領

受講対象

安全・安定運転基礎コース、安全・安定運転上級コース：

・化学、石油などの製造業の実務経験2年以上のオペレーター

技術力強化コース：

・化学、石油などの製造業のベテランオペレーター、スタッフ、マネージャー

リスクマネジメントコース、競争力強化マネジメントコース：

・化学、石油などの製造業の係長以上のスタッフ、マネージャー

実施場所

水島臨海鉄道本社ビル、三菱化学水島事業所、旭化成ケミカルズ水島製造所

受講料

1日20,000円～25,000円（税抜き本体価格）、中小企業には割引料金制度があります。

申込方法

別紙申込書に必要事項をご記入のうえ、ファックス・E-mailにて下記あてにお申込みください。当会ホームページからの申し込みもできます。

申込先：公益社団法人 山陽技術振興会 人材育成室

Tel.(086)422-6625 Fax.(086)422-6656

e-mail:sgskouza@optic.or.jp

申込締切日

開講日1ヶ月前

科目概要

コース	科目	概要	日数(日)	定員(人)
安全・安定運転基礎コース (受講対象オペレーター)	設備管理	安全、安定な運転、保守に必要な設備の知識を、原理原則と豊富な実習で体得する。3日間コースはプラント機械と電気計装、2日間コースはプラント機械について学ぶ。	2 or 3	16
	化学工学基礎	プラント運転の原理・原則を身につけ、より安全で的確な運転ができるようにする。基本的な単位操作を学ぶ。	3	20
	安全体験	実際に危険を体感、疑似体験することにより、事故、トラブルの怖さを再認識できる。Aコース(火災・爆発など)1日、Bコース(噴出・被液、火傷など)1日、Cコース(挟まれ、墜落)1日、Dコース(電気、酸欠)1日。	1	(A)25 (他)20
	原因究明力開発	雑然とした現場の状況を整理し問題点を把握、その原因を究明し、解決の方向を明確にする能力を高める為に役に立つ研修。	2	20
	トラブル事例分析による事故災害の未然防止	体系的に分類した、トラブル・事故・災害事例を「将棋倒し分析」手法を使いグループ討議する。紙上体験により、危険性、予測性を高め、トラブルプリベンターへ成長する。	3	20
	現場の化学	事故の多くは取り扱う化学物質の環境変化による反応に起因する。化学物質の基本や反応危険度を理解して事故事例を参考に環境維持、制御の重要性を理解し、安全な運転を行える基礎を築く。	2	20
	計装基礎	計測・制御等の計装概要と、各計測機器の測定原理、設計方法等の基礎を2日間にわたり学習し、プラント情報の的確な把握による、安全・安定運転の確保を目指す。	2	20
安全・安定運転上級コース (受講対象オペレーター)	コストを考慮した在庫管理と生産活動	オペレーターのコスト意識を高める。オペレーターの視点での生産計画、原価低減、在庫管理の要点を習得する。隔年	1	20
	保安防災管理	オペレーターを対象に保安防災義務意識と、危険物・高圧ガス等に関する法的規制を身につけ、保安防災に関する一般的基礎知識と技術を日常業務に反映できるオペレーターの育成を目指す。	2	20
	保安全管理・技術	設備異常に対する運転員の早期発見、対応能力をKNOW-WHYと豊富な実習、実例で体得すると共に設備異常を起こさない管理技術を習得する。	2	20
	課題形成力開発	自らの製造現場において最も重要な課題を自ら見つけ、自ら解決する「課題形成力」を身に付けることができる。	2	20
	現場リーダーの育成	現場の活力を決定する現場リーダーに要求される基本資質を知り、自己がイメージするリーダー理想像を追求する具体的行動を認識する意識研修。	2	20
	APT(運転体験)	プロセスのシミュレーションモデルを用いて正常/異常操作を行い、運転の基本を習得する。Aコース(熱交換器/冷水塔/蒸留塔/吸収塔)、Bコース(ポンプ/圧縮機/冷凍機/各種反応/事故プロセス)各2日	2	16

講義概要

科目数

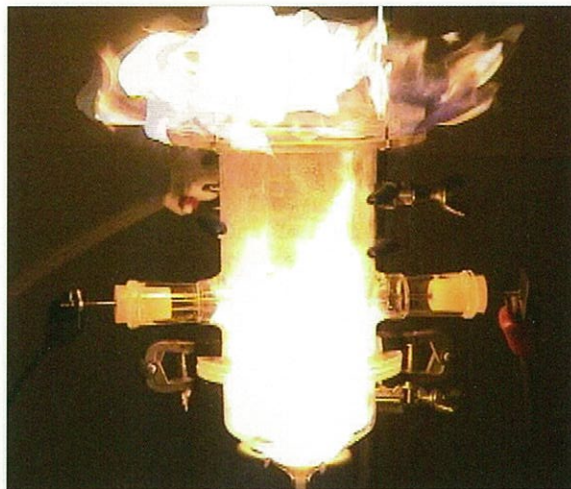
5コース 29科目

講師

大学教授、各専門企業のトレーナー、OBの精鋭講師で実施します。

出前講義

講師がご要望のところに呼ばれて講義します。相談に応じます。

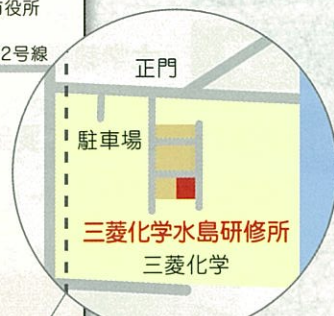


コース	科目	概要	日数(日)	定員(人)
技術力強化コース (受講対象スタッフ)	改革・改善力開発	職場の改善・改良・システム改革や新企画の取り組み等に役立つ創造的職務遂行能力を高め知的労働力の強化に役に立つ研修。	2	20
	腐食を考慮したプラントの安全運転	腐食についての基礎理論から具体的な防食法まで豊富な事例と共に講義する。	2	20
	化学工学通論	プラント改良、設計、構想を担当する技術者、スタッフを対象として、重要な単位操作、最適経済計算などを学ぶ。	3	20
	反応工学	反応工学の初歩と、様々な反応器の設計方程式を学習し最適反応器の設計法を習得。反応器の安定操作とリスクを理解する。	2	20
リスクマネジメントコース (受講対象マネージャー)	ヒューマンエラーの要因分析と安全推進活動	ヒューマンエラーによる事故を防止するために基礎理論、要因分析手法・ツールについて学習する。	3	20
	製造設備のリスクマネジメント	設備の事故を防止するために危険評価手法(HAZOPなど)とシステムの安全管理およびシステム変更時における着眼点について学習する。	3	20
	CSRとコンプライアンス	「CSR」、「コンプライアンス」とは？企業のあるべき姿の根幹に位置するものを、その基本的な事項について1日で正しく身につける。	1	20
	現場のリスクマネジメントとリスクコミュニケーション	企業活動でのリスクから発生する損失を極小化するための経営手法、及び企業立地周辺で生活する市民との正しい相互理解とは何かを理解する。	1	20
	コミュニケーション力	部下を持つラインの長、管理者を対象として、自分から見た自分と周囲から見た自分の両面を知り、正確で効果的な意思疎通、部下指導の力を身につける。	2	16
	事故事例から学ぶ化学プラントの防災	なぜ化学プラントで事故や火災・爆発などの重大災害が起こるのか。どうしたら防げるかを、過去の豊富な事故事例で実践的に学ぶ。	2	20
	事故の教訓から学ぶリスクマネジメント	数千件の事故事例から選出したリスクマネジメントの失敗事例を、設計段階、安全性評価、運転管理、設備管理、工事管理、教育・訓練、変更管理の切り口で「教訓」を実践的に学ぶ。	2	20
	事故事例を用いた危険認識能力の向上	事故事例は、さまざまな教訓に富み、非常に有益な教材である。本講義では、実際に起きた事故を教材として、受講者と一緒に研究し、自ら考えることにより、危険認識能力の向上を図る。	1	20
競争力強化マネジメントコース (受講対象マネージャー)	企業戦略	グローバルに構造的変化が起きる事業環境のもとで競争優位を獲得するために必要な経営戦略のフレーム・ワークを学習する。Aコース(シナリオ・プランニング)、Bコース(経営戦略、演習)、Cコース(日本の化学産業、演習)各1日。隔年	1	20
	組織とリーダーシップ	コンビナートの戦略を展開して行く上で必要な人的資源に関する戦略の基本的なフレーム・ワークとその活用法を学ぶ。隔年	1	20
	事業連携	コンビナートの国際競争力強化に向けて取り組むべき課題を事例に基づいて検討、考察する。隔年	2	20
	新事業創出マネジメント	研究者、事業企画者を対象に、研究開発と事業創出のマネジメントに必要なフレーム・ワークと活用法を学ぶ。隔年	2	20

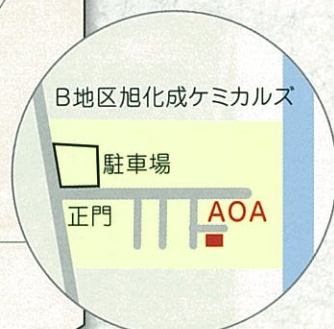
講義場所アクセス図



水島臨海鉄道 栄駅より徒歩2分
倉敷市駅から臨海栄駅約20分



倉敷駅から約20キロ 車で約30分
水島駅から車で約10分



倉敷駅から約20キロ 車で約30分
水島駅から車で約10分

受講者の声

現場リーダー

リーダーの自覚とは何かということをしごく考えさせられた。リーダーのすべき事や、認識が変わってきた。

設備管理

カットモデルがインパクトがあった。トラブル時の対応、処置においても今まで以上に「自分の力が発揮できるのではないかと」自信がついた。

安全体験

現場では不可能なことが体験できた。原理・原則を学び実際に体験し現象のつながりを理解することができた。

保安全管理技術

グループ学習方式なので他社の保安全管理、意見、考え方など参考になった。

トラブル・ヒヤリハット事例

自分で考え、グループで討議するやり方が良かった。トラブルやヒヤリハットは経路を辿れば多くの対策をすることができ未然に防止することができると感じた。

生産管理

オペレーター層にも生産管理の考え方の必要性が分かった。自分の必要性にぴったりの講義だった。ロス減、スキルアップ、段取り改善が会社の利益と結びつきの始めて知った。

保安防災管理

大変充実した内容の濃い講義だった。今まさに自分の業務の求められる内容のことが全て網羅されていた。この講義のテキストはこれから自分のバイブル書になる。

製造設備のリスクマネジメント

ほぼゼロの状態での受講であったがあるレベルまでは達したと思う。設備リスクマネジメントの全体像が分かった。HZOPの理解が深まった。

化学工学基礎

理論の説明・演習と段階的に行うのでわかり易く、ためになることが多かった。トラブルの事前予防にも役立つ講義であった。

ヒューマンエラーの要因分析と安全推進活動

課長として日ごろ悩んでいたことについて今後対応していくヒントがわかった。集団が安全サイドに傾くか、危険サイドに傾くか組織の長の安全に対する姿勢は極めて重要と感じた。

企業戦略

シナリオプランニングは驚きと感動。現下の経営状況のようなこれまでの延長線では予測できない環境下ではこの手法は試みる価値があると思う。事業、テーマ提案に際して極めて有用なツールになりうる。

原因究明力開発

思い込みの深さを改めて自覚でき、固定観念から脱却できた。「モレ」「ヌケ」がないよう幅広い考え方をすることがあることを痛感した。